

## 553 大学問題と中央大学学員の会合

〔「法学新報」第29卷6(331)号 大正8年6月1日〕

○大学問題と中央大学学員の会合 吾人は前号に於て中央大学の発展計画と題し中央大学関係の諸同人か時勢の進運に伴ふへき完全なる設備を整へ同大学をして速に模範大学たらしめんことを画策しつつある模様の大体を報道し置きたるか今茲に多少の重複を厭はす詳細に右問題に関する学員諸氏の活動を記述せんに左の如く各種団体を區別して順次に之を掲くるを便とす尤も各会共遺憾ながら記録の存するものなれば記事に多少の錯誤脱漏の角なきを保し難し因に去る三月十日日本俱楽部に於て開催したる学員側委員と社員側委員との聯合協議会及び其後に於て各所に開かれたる各部会の模様は次号に於て中央大学記事中に報道することとすへし

中央大学同窓会  
田万世橋駅上「ミカド」俱楽部に於て会員間の親睦を計るへく  
忘年会を開きしか時恰も大学令問題喧き際とて来会者頗る多数  
に上り先づ席上の協議として将来同会には任期を一箇年とする  
若干名の協議員を置き之を毎年卒業生中より二十名以下の割合  
にて選任し緊急の必要ある場合は其都度総会を開くことを省略  
し協議員会の決議を以て同会の決議と為し得ることに改めたり  
次に集会せる会員は期せずして大学令發布に伴ひ母校をして率  
先大学令に依る大学たらしむるを緊要事とし満場一致を以て母  
校に対し次の如き建議を為すことを決議せり曰く『今や大学令  
公布せられて吾邦教育界の空氣は茲に一新せり吾人就て該規定  
を觀るに其憾みとする所のもの固より尠からずと雖も吾等同人  
多年の宿論にして採用せられたるもの亦鮮しとせず惟ふに新大  
学令の成立は斯界に於ける慶事なりと称すへき歟吾人は切に望  
む此際母校の当局が天下に率先して遠く文運の趨く所を察し近  
く新令の要むる所を酌み速に最善の設備を整へ吾輩をして大学  
の模範たらしめんことを吾人不敏と雖も學員七千の駿英と共に  
同心協力満腔の熱誠を傾倒して堅忍不拔万往勇進以て万難を排  
除し以て母校の前途を開拓せんことを期す諺に云はすや断して  
行へは鬼神も之を避くと實に今を其秋なりと為す何ぞ因循して  
永く惰眠を旧巢裡に貪ほらんや惟ふに母校創立以来三十有余年  
其養ひ來れる剛健質実の校風か産む所の実力は今日即ち一時に  
發揮せらるへく此力を以て此事に當る天下是よりも為し易きこ  
と之なからん從て吾人は当局か万萬機宜を失するなきを疑はず

と雖も一片愛校の衷情默し難きものあり茲に臨時総会を開き満  
場一致の決議に依り吾人の切なる期待を陳へ愚衷を披瀝するこ  
と爾り希くは焉を諒とせられんことを』上叙の趣旨に則り吾人  
は左の事項を建議するものなり一、第一著手として速に母校の  
組織を変更して財團法人と為すこと但し理事の数は時勢の進運  
に鑑み從来よりも増加すること一、學員其他より此際更に基金  
の臨時大募集を斷行すること大正七年十二月十四日』右建議は  
同年十二月二十日同会幹事より岡野学長に進達せられたるか同  
会に於ては右建議の趣旨を貫徹すべく決議書を印刷して母校の  
社員一同、學員会理事評議員等に配付し又會員中の有志は隨時  
母校関係者先輩等を歴訪し一面同会は實業同窓会、同窓記者会  
及び中央大学学士会等と聯絡を図り母校の大發展策を實現すべ  
く活動を繼續しつつあり

中央大学学士会  
新大学令の公布あるや中央大学学士会會員諸  
氏は期せずして母校の發展策に付き執れも憂慮する所ありしか  
時恰も年末年始多故の際に当り会合を催して其意見を交換する  
に由なく同会会长並に理事は本年一月十一日午後五時より神田  
万世橋駅構内「ミカド」に於て新年宴会を兼ね母校刻下の重大問  
題に付き協議会を開催せんことを決定したり時に大正八年十二  
月二十五日なりき爾來同会役員は會員諸氏を歴訪して意見を徵  
し其愈開会当日と為るや各方面の新年宴会に忙殺されつつある  
當時なるにも拘はらず多数の會員出席せられ和氣藹藹の裡に会  
食を了し次て直に当日の議事に移り石山會長議長席に就き天野  
理事は有志諸氏より提出せられたる議案を朗讀す次て常田氏は

提案者の一人として提案の趣旨を説明せられたるか其提案は『本会は母校の当局が此際機を失せず他校に率先して時勢の進運に伴ふべき施設を備へ母校をして天下大学の模範たらしめんことを要望す』との趣旨の下に第一、母校の組織に関する件第二、基金募集の方針に関する件第三、財團組織と最高議決機関設置に関する件第四、教授の選任養成に関する件第五、図書館及び研究室に関する件等に付き大方針を定めんとするに在り又ト部氏は特に各私立大学か新大学令に準拠するの設備を完うする為めに政府に対して相当の施設を要求せんことを提議せられる各会員の間に充分の討議を凝したる末提案の趣旨は全員一致を以て可決し第一以下の具体的事項に付ては実行委員若干名を会長指名の方法に依り選任して其決定に一任することとし尚ほ実行委員は母校の当局、学員其他必要あるときは政府に就き建議遊説其他の方法を尽して努力することとし其議を了りて散会したるは午後十時を過ぐ其後会長より指名したる実行委員は石山彌平、林頼三郎、堀江専一郎、常田力、大場茂馬、岡田泰藏、荻野對助、横田千之助、高野金重、高窪喜八郎、武田鬼十郎、小島愛三郎、天野徳也、平城慈門、篠崎仙司の諸氏にして委員諸氏は更に一月十六日午後正六時より中央大学に参考集し受託事項の協議会を開いたるか石山、林、堀江、武田、小島、篠崎、天野の諸氏交々立て其所見を披瀝し慎重審議を重ね遂に多少の修正を加へて原案を可決す是に於てか委員の名を以て決議の趣旨を母校当局に建議し委員中の数氏は又学長を訪問して懇談する所ありたり尚ほ当日の委員会に於ては速に学員会の理事及び

評議員会を開くを以て適當と認め其開催を期することと為り林、石山、天野の三氏主として其衝に当り理事及び評議員の諸氏と交渉の結果二月九日を以て母校に同会を招集することに決定す是に於てか委員諸氏は當時同一目的の為めに熱心に活動中なる中央大学同窓而立会の委員諸氏と会見して予め意見の疏通を計るを適當とし二月二十五日午後正六時より神田小川町宝亭に両会委員の連合会を開きたるか主として理事評議員会に提出すべき議案に付き意見の交換を為し其散会したるは十二時に垂れんとす

学員会理事及評議員会=去る二月九日午後五時より中央大学内に於て学員会の理事及び評議員会を開く亦是れ母校刻下の重大問題に付協議する所あらんとするものに外ならず当日出席せられたる諸氏は實に五十余名の多数に上り母校よりは岡野学長並に馬場理事出席せらる先づ花井氏の動議に依り太田氏を座長に推し、会の役員を選ひたる所花井博士理事長に、林氏理事副長に、原博士評議員会長に石山河野の両氏は共に評議員会副会長に當選せられ其れより会食に移り其了るや座長指名の下に石山会長を議長に推し協議会に入る但其議事に先ち各種会合か當面の問題に付き企図したる所を各関係者より報告を受くるを以て最も便益なりとし且つ而立会及び学士会より当局に提出したる建議に対し特に本会の賛成を要めらるるあり加ふるに学員松島昇氏外二十一名より花井理事に対し十二月二十五日を以て学員総会開会の請求もありたりしを以て議長は常田力氏に而立会の、堀江氏に学士会の又小倉氏に実業同窓会の本問題に関する

報告を為さしむ右了るや岡野学長は拍手に迎へられて起立し先づ本問題起りてより以来学員諸氏より組織せらるる各種の団体より種種なる建議あり當局として誠に心強く感じ誠意誠心感謝に耐えず顧みれば本学學員諸氏は母校を愛せらるるの情最も深く事ある毎に多大の出捐を惜ます以て母校の發展に全力を傾注せらる二十年記念講堂、二十五年記念講堂、三十年記念基金等の挙に微して之を本学の天下に誇るべき一大美風なりと謂はざるへからず而して今又刻下の大問題に付熱心に尽力せらるるは吾吾當局として茲に厚く謝意を表せざるを得ざる旨懇切に述べられたる後當局として新大學令公布後今日まで執りたる行動を詳細に報告せられ更に大學令に対し極めて痛切なる批評を試み且旧臘中開会の社員総会の模様を報告すると同時に母校の現況を備に説明せられ尚ほ馬場理事よりも一二補説する所あり斯くて前田其他の数氏より学長に対して種種なる質問を試みたるか  
学長は之に対して極めて熱心に適切なる答弁を与へらる是に於てか今幡、山浦、内田其他の諸氏より各提案する所ありたるもの議長の手許には既に河野其他十数氏連署の上提出したる議案あり先づ之を議することと為りたるが提案者の説明に次ぎ之に対する二三質問ありたる上左の如く満場一致を以て原案を可決したり吾人は同心協力以て母校の當局を補翼し組織を改め、基金を募り、完全なる設備を整へ、天下に率先し、吾校をして模範大學たらしめんことを期す此目的を貫徹する為め若干名の委員を挙げて必要なる一切の事項を審議決定せしむへし又此際成るべく速に全國學員総会を招集するを適當と認む—尚ほ委員は

理事長、副理事長、評議員會長、同副會長の決定に一任することと為したるか此時大内、寺島、福田、一又、鹽坂、平城、志賀其他の諸氏より極めて重大なる緊急動議の提出あり議長の其提議を朗読するや滿場頗る緊張し肅然として沈黙を守ること多時、斯くて福田氏は徐ろに立ちて提案の理由を詳叙し其より河野、山浦、内田、堀江、林等の諸氏より種種なる意見を述へられ結局提案の精神には全然賛成なるも今日之を決議と為すの必要なかるへしといふに歸著し大内氏より動議を撤回することと為りたり其より各自隨意に意見を交換し大に奮労努力すへき旨を申合せて散会したるは十一時を過ぐ其後決議に基き指名せられたる委員は實に左の諸氏なり

理事の部—花井卓藏、林頼三郎、西川一男、太田資時、小栗盛太郎、高野金重、指田義雄

評議員の部—石山彌平、飯田延太郎、一又安平、原嘉道、堀江專一郎、小倉敬止、大場茂馬、大田黒英記、小野瀬不二人、大内省三郎、若尾璋八、川久保源治、河野秀男、加瀬禱逸、川手忠義、横田千之助、横田民藏、田中文藏、武田明、高窪喜八郎、武田鬼十郎、内田清吉、山崎林太郎、山田三郎、前田米藏、福田市太郎、小松林藏、海老原重、新井要太郎、天野徳也、木村精一、三浦大五郎、品川英一、志賀三行、篠崎仙司、平城慈門、鈴木濟美

是に於てか委員諸氏は二月九日午後五時より中央大學に參集して第一回委員会を催したるか花井氏座長席に就き懇談的に目的遂行の方法に付き意見を徵したる所内田、志賀、河野、武田

(明)、花井、大田黒、加瀬、其他の諸氏より交々陳述する所あり尚ほ当日は十数名連署の上中央大学基金募集委員会規定草案の提出ありたり其第一条は本会は中央大学をして時勢の進運に伴ふべき完全なる設備を整へ以て模範大学たらしめんか為め其基本金を募集するを以て目的とす第二条は基本金は少くとも一百万円以上を募集するものとす第三条本会は所要の金額を中央大学学員中の有資者より速に醸出を請ふことを期す第四条本会は尚ほ別に向後十個年を期して学員其他一般有志者より月賦又は年賦若くは其他の方法に依り所要の寄附金を募集し以て基金の充実安固を図るへしと云ふより第五条以下第十一条並に細則に至り会の組織手続其他を規定したるものなりしか今直に之を議定するは尚ほ早きに過くるを以て是等一切の意見を覚書と為して学長を訪問し其意向を確かめ然る上にて之を決するを可とすといふに決し河野、大田黒、武田(明)、小倉、小野瀬、加瀬の七氏其交渉の任に当ることと為る斯の日花井、林、河野、堀江、天野、大内、福田、海老原其他の諸氏は一時を過くる迄居残りて彼は考究する所ありたり又委員諸氏は同月二十日午後五時より中央大学に參集し第二会議<sup>(ア)</sup>協議会を開き河野氏其他の訪問委員より学長との交渉の顛末に付き報告を受けたる後原、花井、田中、指田其他の諸氏より意見の陳述あり且未だ文部省の方針定まらざる今日事業の方針を決定するに困むを以て更に学長と会見して充分の考究を遂くへしとの説勝を占め林、河野の両氏専ら其衝に当ることと為り其後両氏は学長其他の当局と面会して隔意なく委員一般の意向を陳述し且種種協議打合せする

所ありたるか其結果三月十日を以て学員会側の実行委員と社員側の実行委員との聯合会を開くことと為りたり  
 中央大学実業同窓会<sup>ニ</sup>二月二十一日春季大会に於て母校の大学令に依る大学たらんことを希望する旨決議したる同会は三月二十五日午後六時より更に日本俱楽部に於て臨時大会を開催し岡野学長、馬場松本両理事、佐藤幹事を始め会員多数出席晚餐後席を改め小松林藏氏を推して座長と為し協議会を開き岡野学長、馬場理事より大学問題に付き從来の経過を説述せられ会員中より質問及び希望を述べる所あり結局此目的を遂行する為め基金の募集に着手すべく一決し其方法等に付ては別に実行委員を挙げて一任することと為し座長の指名に依り左掲の九氏委員に選任せられ十時頃散会せり

飯田延太郎、大島三橋、小倉敬止、若尾璋八、脇田勇、横田好實、田中文藏、武田明、中島徳次、中山佐市、久米良作、藤本徳之進、藤井正章、小松林藏、永瀧久吉、境野藤吉、指田義雄、宮地正彰、志賀三行」

臨時大会に於て選任せられたる実行委員諸氏は四月二日日本橋錦水に於て委員会を開催し基金募集額に対する本会の責任予定期額を定め尚ほ各部と交渉の任に當るべく飯田延太郎、小倉敬止、若尾璋八、田中文藏、武田明、中山佐市、永瀧久吉、指田義雄の八氏を特別委員に互選し九時過散会したり  
 中央大学同窓記者会<sup>ニ</sup>中央大学出身の新聞雑誌記者より成る中央大学同窓記者会は去月十九日午後六時より日本俱楽部に其例会を開催したるが学校よりは岡野学長、馬場理事及び佐藤幹

出席あり会員は三十余名の多数出席し会食後小野瀬不二人氏座長の下に母校の発展策に付き協議を始むるや先づ岡野学長は会員の請ひに応して母校か目下未曾有の盛況に在り学生は實に五千に近き有様なること並に発展策に付きては学員諸氏愛校の熱誠に頼りて既に確然たる成算立ちつつあること及び經營に関する大体を報告せられ斯くて一同は異議なく『中央大学同窓記者会は新大学令に拠る母校の發展に関し其天職の上より極力之が達成を期し飽く迄其遂行に努力すへし』との決議を為し尚ほ岡野、馬場、佐藤三氏指名の方法に依り本会幹事の改選を行ひたるに井上（報知）、岩本（時事）、堀口（日々）、細野（やまと）、山口（都）、山根（國民）、前田（中央）、關口（毎夕）、杉村（朝日）、最上（万朝）の十氏其選に當り互選の結果井上、細野、前田の三氏常任幹事に當選し本会の為め大に尽力せらることと為りたり